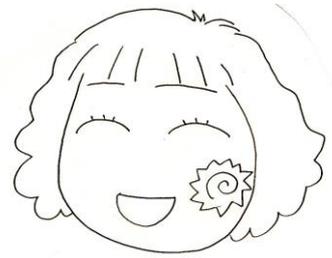


作ってみよう!

牛乳パック 紙すきハガキ作り



しろくまキッズ サポーター
しろくま先生

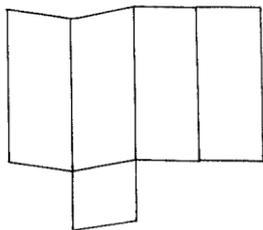
ごみを減らすことは、地球温暖化防止につながるよ

牛乳パック紙すきハガキは、牛乳パックを使ったりサイクル工作です。ハガキを作ればリサイクルになって環境にいい!・・・わけではありません。牛乳パックは、木から生まれ変わったばかりのパルプから出ています。紙は何度もリサイクル出来ます。牛乳を飲んだ後、そのまま捨ててはもったいない!のです。紙をリサイクルすれば、木を大切にすることにつながります。きちんと分別し、ごみを減らせば焼却時の二酸化炭素も減ります。地球温暖化防止にもつながります。紙すきやりサイクル工作で伝えたいことは、「ごみを減らすこと」が「温暖化防止につながる」という「環境に配慮した暮らし」です。

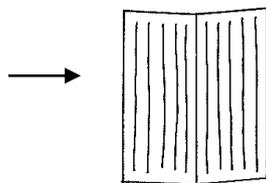
用意するもの

牛乳パックを煮る鍋／牛乳パック／カッター／ミキサー／ざる／バケツ／紙すき枠／あみ／板
500MLペットボトル（フタつき）／お花紙／タオル／ハガキを貼って乾かす窓

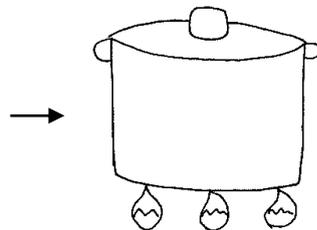
1) 牛乳パックからパルプを取り出す



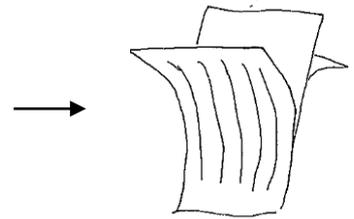
①洗って開いた
牛乳パック



②カッターで
ラミネートに傷
をつける



③なべで
30分位煮て
そのまま冷ます



④ラミネート
をはがす

牛乳パックは、再生紙
ではなく**バージン
パルプ**を使っています。
リサイクルしないな
んてもったいない!

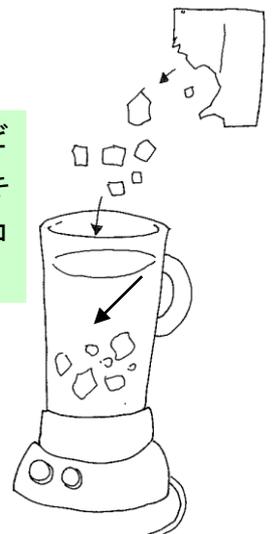
パルプは
ふわふわ!

⑥ざるに空けて
パルプを取り出す

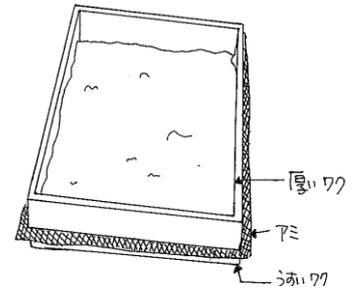
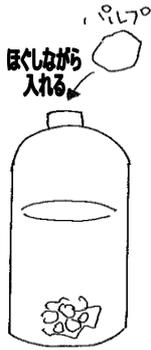
⑤中の紙をビリビ
リにやぶいてミキ
サーにかけ、ドロ
ドロにする



直径3cm位のお団子が、ハガキ1枚分です。
これを乾燥させれば いつでも水に戻して使うこ
とができます。学校で行う場合、2回にわけ
1回50分で行うことができます。



2) パルプから紙すきハガキを作る

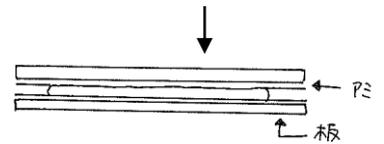


① 水の入ったペットボトルにはがき1枚分のパルプを入れます。

② 人間ミキサーになってペットボトルを振る

③ パルプがふわふわになったらお花紙で色をつける

④ ペットボトルの中身を枠に流し込んで平らにならす。

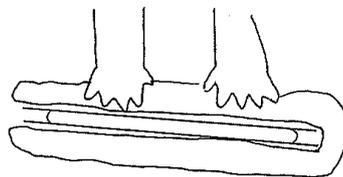


⑤ 枠をはずしてアミと板ではさんで水を切る

⑥ タオルにはさんで水分をとる

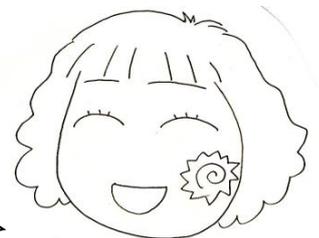
⑦ 窓に貼って乾かします

アイロンを使わなくても仕上がりがキレイ☆です



省エネ!

ハガキを作る時間は、1枚10分程度です。準備や後片付けなどを含め、活動時間は2～3時間あるとじっくり取り組めます。



発展

色、いろいろ！まぜる工夫

活用の工夫

紙すきをするときの色は、お花紙を使います。

1色のまま、きれいな発色を楽しむのもよいですが、色をまぜてもきれいです。まぜ方はいろいろです。

例) ①お花紙をまぜる

②それぞれの色のパルプを流し込んでまぜる
色パルプで模様をつくることもできます。

ハガキを飾り付けしてカードにしたり、うちわを作ることもできます。

自分なりの工夫ができるのが、紙すきの楽しみです！

